

【出題意図】 課題文を読み、論旨を理解する力、問いの意図を理解する力、物事を論理的に考える力、自分の考えを文章に表現する力を問う。

【解答例】

問1 下線部(1)～(4)を漢字で表しなさい。

(1) 狭義 (2) 根源 (3) 復興 (4) 故郷

問2 空欄[ア]にあてはまる接続詞を、下の()の語群から1つ選びなさい。

ところが

問3 作者が教養を重視する理由について、150字以内で述べなさい。

教養がある人は教養がない人に比べて、豊かで楽しい人生をおくることができる。また、教養には、考える材料としての知識と考える力の両方が必要であり、社会に出て、職場でうまく仕事をするために、他人を観察し、思考パターンをつかむといった相手の理解が不可欠であり、この時に役立つのが教養であるからである。(146字)

問4 下線部(A)を踏まえ、あなたの「知識」と「考える力」に対する考えについて、700字以内で述べなさい。

<解答例>

作者は、「知識」と「考える力」について、「近年は社会の変化のスピードが速く、知識が陳腐化する」ため、「知識」ではなく探究力という「考える力」を重視している。

私も作者の考えに賛成である。私達も小学校から高校までの間に、多くの知識を学んできた。しかし、人工知能が発達すると、これまで学んだことが全て必要とは限らなくなると考える。例えば外国語学習については、スマートフォンに入っている人工知能を使うと、簡単な文章であれば日本語と外国語の翻訳が可能である。外国語の単語の意味がわからなくても、文字の入力や、写真に写すだけで意味がわかり、自分の代わりに器械が外国語を話す。今後は、外国語で映画やコミュニケーションを楽しむ等、生活を豊かにするために、外国語の学習が進められるかもしれないが、日常会話程度であれば、外国語の学習が不要な時代が来るかもしれない。一方、プログラミングなど新しく増えた科目があり、時代に応じて必要な知識は変わると言える。

日本では、ソサエティ5.0の時代に備えて、私達が予測不能な時代に柔軟に対応し、生きていく力を養うために、主体的に取り組む力や創造的に考える力の育成に教育方針を転換させた。これからの社会では、「知識」の量があればよいのではなく、「知識」を学ぶ目的を意識し

て、自分が学んだ「知識」と人工知能を活用しながら、生活や人生を充実させることが大切だと考える。一定量の「知識」や積み上げ学習の基盤となる「知識」は必要だが、どのような時代になっても人間としてよりよく生きるために、「知識」を活用して、物事を批判的に考える力や探究力が重要だと考える。(680文字)